

見るを極める技術・光で操作する技術 光学顕微鏡の今

ヒトは「視覚の動物」と言われ、外界情報の多くを目から得ています。生物の研究でも見ることは重要で、直接目で捉えることができない生命現象を「見る」ために、古来より様々な工夫がされてきました。現在でも「見る」を極めるための技術開発がなされる一方で、顕微鏡と光を使って「操作する」という新しい技術も開発されています。本シンポジウムでは、生体の「見るを極める新技術」、および生体を「操作する新技術」を、最先端でご活躍の研究者をお招きして、平易な言葉でご紹介していただきます。学部生、専門外の方、誰でもどうぞお気軽にご参加ください。

■日時: 2017年 **12月16日** (土)

13:30~16:35 (開場13:00)

■会場: **日本女子大学 八十年館**

5階 851教室

東京都文京区目白台2-8-1

■交通

JR山手線目白駅下車徒歩20分

JR山手線目白駅前より新宿駅西口・椿山荘行き都バス(白61)

または日本女子大学行きスクールバス(学05)にて「日本女子大前」下車

東京メトロ有楽町線 護国寺駅下車徒歩約10分

東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車徒歩約8分

プログラム

13:30-13:35 開会の辞 永田典子 日本女子大学バイオイメージングセンター代表者

13:35-13:55

見るから操作するへ～光学顕微鏡の先端技術の紹介

亀井保博 基礎生物学研究所生物機能解析センター

13:55-14:35

ありのままを見る無染色イメージング技術

大嶋佑介 愛媛大学医学部附属病院先端医療創生センター

14:35-15:15

光操作で生物をつくりかえる

小笠原慎治 科学技術振興機構

15:15-15:30

休憩(15分)

15:30-15:50

メダカがイメージする世界

深町昌司 日本女子大学理学部

15:50-16:30

生命現象を光で操作する

佐藤守俊 東京大学大学院総合文化研究科

16:30-16:35

閉会の辞 宮本武典 日本女子大学大学院理学研究科委員長

16:50-18:20

懇親会(七十年館1階 ランチエ)

主催:

日本女子大学 バイオイメージングセンター

問合せ・電子顕微鏡施設内

<http://www5.jwu.ac.jp/gp/bic/>

E-mail:em-lab@fc.jwu.ac.jp



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY